

WI-U2-433DM を CentOS7 で使う

これまで、自宅の Linux マシンでは、
GW-USValue-Ez と WLI-UC-GNM(もしかしたら WLI-UC-GNM2 だったかも)を使っていたのですが、
802.11g で 2.4GHz のために、いろいろと使い勝手が悪い思いも。
というわけで 802.11a 対応なアダプタに変更すべく、WI-U2-433DM を購入。

まではよかったです。設定にドハマリしてしまいました。
Web を見るといろんな情報があるのだけれども、
結局、以下の手順で動作させることができました。

カーネルを新しいものにする

CentOS 7 のカーネルは 3.10 と少し古めなので新しく。
手順としては、[Centos7 Upgrading Kernel to 3.19](#) を参考に (自己責任で)

```
rpm --import https://www.elrepo.org/RPM-GPG-KEY-elrepo.org
rpm -Uvh http://www.elrepo.org/elrepo-release-7.0-2.el7.elrepo.noarch.rpm
yum --enablerepo=elrepo-kernel install kernel-ml
yum --enablerepo=elrepo-kernel install kernel-ml-devel
```

カーネルドライバをインストール

チップ自体は、[WikiDevi](#) によると Realtek の RTL8811AU というもので、ドライバは 8812au だよ、
と書いてある。

で、8812au なドライバはたくさんあるのだけど、
https://github.com/abperiasamy/rtl8812AU_8821AU_linux.git

でちゃんと認識できた。

他のだと、無線 LAN のはずなのに Wired と認識してしまうために carrier detection ができない、
などと、動作せず。

```
git clone https://github.com/abperiasamy/rtl8812AU_8821AU_linux.git
cd rtl8812AU_8821AU_linux
make
sudo make install
```

で OK。挿すと認識するので、たとえば nmtui を使って設定。